

総合情報学部

①タイトル ②著者 ③出版者 ④推薦コメント ⑤推薦者

情報科学科

①コンピュータシステムの基礎 (第14版)

②アイテック情報技術教育研究部編著 ③アイテック情報処理技術者教育センター

④コンピュータシステムの基礎テキストとして、コンピュータ技術、通信技術、情報システムの開発などの激変している情報技術を全面的に分かり易く学習できる書物である。 ⑤劉渤江先生

①自然科学における数学的方法

②G. ボーヤ著 細川尋史訳 ③シュプリンガー・ジャパン

④自然現象を考える際に、これまでの物理や化学など学んだ知識を過去の偉人達の数学的解析手法を改めて考えてみようという内容である。数式など多少難しいが話として読むといろいろな考え方の流れが分かる書物である。 ⑤河野敏行先生

コンピュータ・コミュニケーション学科

①生きるヒント ②五木寛之著 ③角川書店

④敗戦後わずか数年で経済復興、高度経済成長を成し遂げた。

豊かなはずであるが、年間3万人もの自殺者が出ている。人が生きるということは、どういうことなのか、静かに考えてみる手助けとなる本である。 ⑤藤井勝彦先生

①17歳のための世界と日本の見方：セイゴオ先生の人間文化講義

②松岡正剛著 ③春秋社

④若いときに、世界と日本の相互関係の歴史をしっかりと見ておくことは、非常に大切である。国や民族の文化や宗教がどのように発生し変化し、対立や融合を生んでいったのかを知ることは、生きていく上で直接役立つようなことはなかるうが、物事を考えていく上での大局観を養ってくれるはずである。

⑤藤井勝彦先生

生物地球システム学科

①ほくらの村にアンズが実った：中国・植林プロジェクトの10年

②高見邦雄著 ③日本経済新聞社

④この本は、植林を通じて環境問題に取り組んでいるあるNGOの感動的な記録である。「問題は全地球的に考え、実践はできることから」をモットーに、黄砂吹きすさぶ乾燥地帯での植林活動の記録は、環境問題にどう取り組むかということだけでなく、植生のとらえ方としても興味深い。 ⑤鳥居雅之先生

①共生生命体の30億年 ②リン・マーギュリス著 中村桂子訳 ③草思社

④原始地球に登場した単細胞生物が、現在の精緻な生物にまでどのように進化してきたのかは、科学者だけでなく宗教者までを激しい論争に巻き込んできた。著者は「共生」という挑戦的なアイデアを振りかざして、この論争に激しく挑んできた。生命に興味があるなら一読に値する本である。 ⑤鳥居雅之先生

社会情報学科

①格差社会：何が問題か ②橋木俊詔著 ③岩波書店

④日本の格差問題の第一人者が、さまざまな社会統計データを用いて、「格差社会・日本」の現状を詳細に検証し、そのゆくえを問う。格差論の決定版、と評価。 ⑤泉俊弘先生

①「吉備の中山」と古代吉備 ②薬師寺慎一著 ③吉備人出版

④著者は、吉備の中山のふもとに在住し、吉備の中山を徹底的に調査されてきた歴史家です。吉備の中山には、かつては天皇も信仰された吉備津神社・吉備津彦神社があり、まさに吉備＝岡山の中心地だったところです。岡山で学び、暮らす人間としては、ぜひ読んでおきたい一冊です。 ⑤志野敏男先生